



株式会社仙台銀行 企画部  
〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号  
TEL.022-225-8241 (代)  
平成17年12月発行

ホームページ <http://www.sendaibank.co.jp/>



SENDAI BANK

MINI  
DISCLOSURE  
'05



古紙配合率100%再生紙を使用しています このカタログは大塚製パンで印刷しています

2005年中間期ミニディスクロージャー誌

頭取あいさつ

1

経営理念・経営方針

2

好品質計画

4

地域密着型金融推進計画

6

地域の皆さまとともに

8

トピックス

14

業績のハイライト(個別)

16

不良債権の状況

20



私たちは、宮城県の皆さまから  
もっと仙台銀行を好きになっていただくために、  
企業風土改革「好品質計画」に取り組んでおります。

平成17年12月

仙台銀行  
取締役頭取

三井 精一

仙台銀行プロフィール(平成17年9月末現在)

創 業 昭和26年7月5日  
資 本 金 74億85百万円  
本 店 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号  
店 舗 数 71カ店(宮城県内70カ店、東京1カ店)  
行 員 数 785人(男子582人、女子203人)  
預金 総残高 7,391億円  
貸 出 金 5,068億円



# 経営理念・経営方針

当行は、昭和26年に宮城県知事の提唱により、「宮城県の中小企業の金融円滑化」を目的に、宮城県が資本金の4割を出資して設立されました。「宮城県の中小企業の方々のために役立つ」ことは当行の企業使命です。

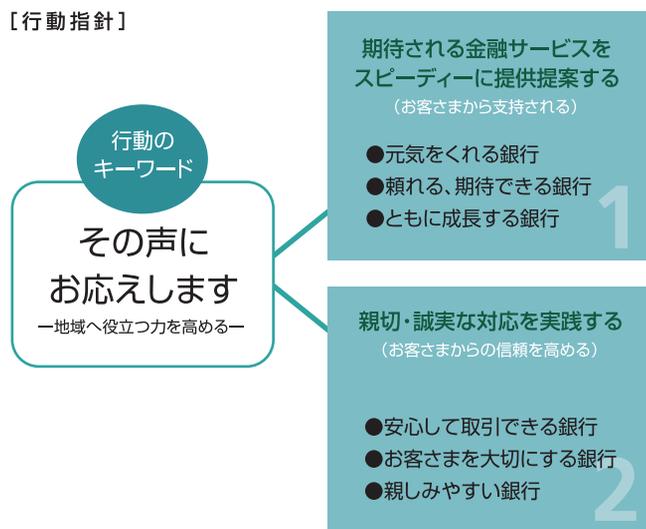
当行では、平成16年4月より、計画期間を2年間とする中期経営計画「ステップ・アップ・プランⅡ」に取り組んでおります。

本計画では、役職員の行動キーワードに「その声にお応えします」を掲げ、役職員一人ひとりがお客さまの様々な声を真摯に受け止め、お客さまに真に満足いただけるような新たな商品やサービスを創造・提供し、長期的かつ良好な取引関係の構築を目指しております。

## 【経営目標】

### 地域から最も信頼され、地域に最も貢献する銀行

## 【行動指針】



## 【計画目標】



## 基本戦略

## 主要施策

### 営業戦略

- 営業体制・個々人の営業力の強化
- リテール取引の拡充・推進
- 法人・個人事業主取引の拡充・推進
- 役員取引等利益の拡充・増強
- お客さま重視の業務運営の徹底
- 有価証券運用の強化

### 業務再構築戦略

- 業務運営システムの再構築
- 営業店・店舗外ATM体制の見直し
- グループ連携の強化

### 人材育成活用戦略

- 新人事制度の適正運用
- 融資取引先開拓・コンサルティング能力の向上
- 業務処理力の向上

### コンプライアンス・リスク管理の精度向上

# 好品質計画

## 「好品質計画」とは

「好品質計画」とは、「銀行はサービス業である」という原点に立ち返り、「お客さま・株主さま・地域社会・職員」という4つのステークホルダーの満足向上を実現するため、全役職員が「新しい価値観・新しい思考様式・新しい行動」に取り組み、企業風土改革を実現していくことを目標にしております。



株主さまの満足

お客さまの満足

# 好品質計画

地域社会の満足

当行で働く職員の満足

当行では、企業風土改革を実現していくために、本部・営業店職員を含めた組織横断的なメンバーによるチーム（クロスファンクショナルチーム）を設置し、様々な課題に取り組んでおります。

各チームの活動テーマは次のとおりです。

### 顧客ロイヤルティチーム

お客さまに当行のファンとなっていただく施策を検討します。

### 職員ロイヤルティチーム

当行職員の仕事に対するモチベーションのさらなる向上を目指します。

### 合理化チーム

営業店業務の合理化を目指します。

### 戦略検討チーム

お客さまに満足いただける商品・サービスの提案・提供を目指します。

### 組織力向上チーム

企業価値の向上を目指します。

### 店舗環境チーム

地域の手本となる店舗づくりを目指します。

### ITチーム

ITを活用した顧客サービスの向上と、各システムのレベルアップを目指します。

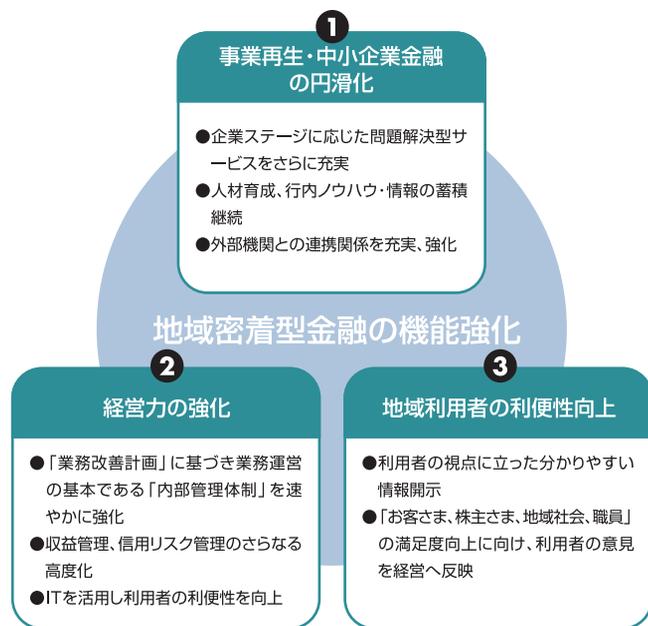
# 地域密着型金融推進計画

## 「地域密着型金融推進計画」とは

本計画は、「リレーションシップバンキングの機能強化計画（平成15～16年度）」の成果や、地域および当行の特性等を踏まえ、「事業再生・中小企業金融の円滑化」「経営力の強化」「地域利用者の利便性向上」を柱に地域密着型金融を進める方針や具体策を定めたものです。

当行では、地域金融機関として、これまで以上に地域の皆さまのお役に立てるよう、本計画を着実に実行してまいります。

### 「地域密着型金融の機能強化」の3つの柱の重点項目



## 具体的目標

- 創業者セミナーを年1回開催（平成18年度以降）
- 当行有望取引先をベンチャーファンドへ5社以上紹介（平成18年度末迄）
- ビジネスマッチング仲介件数を平成17年度に30件、平成18年度に50件実施
- 仙台銀行ビジネスクラブの会員数を平成17年度末に700会員、平成18年度末に750会員に強化
- 要注意先を中心に500社以上の取引先への経営改善支援を実施（平成18年度末迄）
- 宮城県中小企業再生支援協議会への案件持込を平成17年度に10件以上、平成18年度に10件以上実施
- 「サポートみやぎ」の残高100億円の達成（平成17年度末）
- 純新規先向け新商品を累計200件取扱い（平成18年度末迄）
- 第2回宮城県CLOの募集目標を30社、10億円（平成17年度）
- 税理士・公認会計士等50名以上と提携（平成18年度末迄）
- 外部指導機関の中小企業診断士受験対策コース（1年間）を10名以上受講（平成18年度末迄）

「地域密着型金融推進計画」については、  
当行ホームページにより詳しく掲載しております。



仙台銀行ビジネスクラブ主催  
「商談会」  
（平成17年10月19日開催）

# 地域の皆さまとともに

## 当行における地域貢献に関する考え方

当行は、昭和26年に宮城県知事の提唱により、「宮城県の中小企業金融の円滑化」を目的に、宮城県が資本金の4割を出資して設立された地域金融機関です。「宮城県の中小企業の方々のために役立つ」ことが、当行の企業使命であり、地域貢献であると考えております。

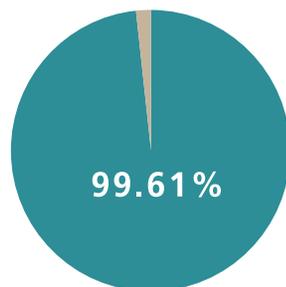
具体的には、事業資金やローンの提供という資金供給にとどまらず、経営相談やコンサルティング業務等を通じて中小企業の活動を多面的に支援していくことが、当行における地域貢献であると考えております。それと同時に、各種セミナーや講演会等の開催、地域行事への参加等も地域発展に必要なことであると考えております。

これからも当行は、地域貢献に関する情報をより一層積極的に開示し、地域の皆さまからご理解、ご満足いただけるよう努めてまいります。

### 当行の預金・譲渡性預金の状況

当行の預金・譲渡性預金残高7,391億62百万円のうち、宮城県内のお客さまより7,363億36百万円お預かりしており、当行の預金・譲渡性預金残高全体の99.61%となっております。

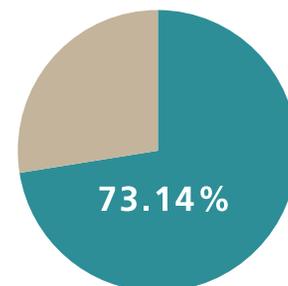
●預金・譲渡性預金残高全体に占める県内割合  
(平成17年9月末現在)



### 県内の預金・譲渡性預金の状況

当行における宮城県内の個人のお客さまからお預かりしている預金・譲渡性預金残高は5,385億90百万円であり、当行の宮城県内の預金・譲渡性預金残高に占める割合は、73.14%となっております。

●県内預金・譲渡性預金残高に占める県内個人預金・譲渡性預金割合  
(平成17年9月末現在)



### 預かり資産の状況

お客さまの資産運用ニーズにお応えするため、さまざまな商品を取り揃えております。公共債、投資信託および個人年金保険を対象とした預かり資産残高は、128億81百万円となりました。

●預かり資産残高  
(平成17年9月末現在)



合計 **128億81百万円**

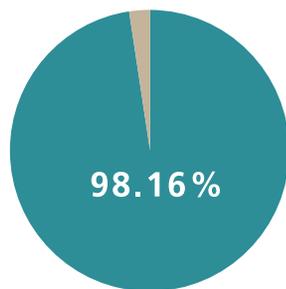
(注)個人年金保険残高は成約累計残高とし、解約分は考慮しておりません。

# 地域の皆さまとともに

## 当行の貸出金の状況

当行の貸出金残高5,068億9百万円のうち、宮城県内のお客様さまへの貸出金残高は4,975億8百万円であり、当行の貸出金残高全体の98.16%となっております。

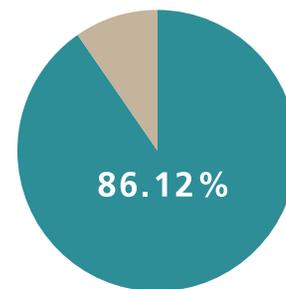
●貸出金残高全体に占める県内割合  
(平成17年9月末現在)



## 住宅ローンの状況

宮城県内の個人ローン残高1,580億67百万円に占める住宅ローン残高は1,361億30百万円であり、宮城県内個人ローン残高全体の86.12%となっております。

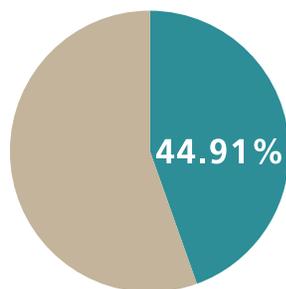
●県内の個人ローン残高に占める住宅ローンの割合  
(平成17年9月末現在)



## 県内の中小企業への貸出状況

当行では、設立の原点である「宮城県の中小企業の方々のために役立つ」ことを企業使命として、企業経営を進めております。

●県内の貸出に占める中小企業向け貸出割合  
(平成17年9月末現在)

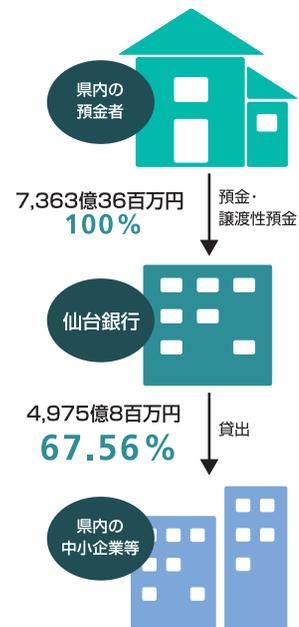


宮城県内の貸出のうち、44.91%となる2,234億36百万円を中小企業の方々に貸出しております。

## 県内への資金供給

当行では、宮城県内のお客さまからお預かりした預金・譲渡性預金の67.56%を宮城県内の中小企業や個人のお客さまなどへご融資し、地域の円滑な資金供給を行っております。

●当行における県内預金・譲渡性預金と貸出の状況  
(平成17年9月末現在)



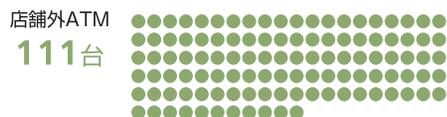
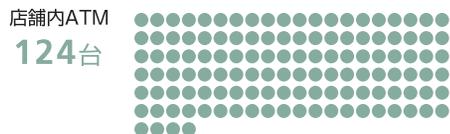
# 地域の皆さまとともに

## 利便性の状況

当行では、営業店71カ店のうち70カ店、ならびに235台のATMを宮城県全域に設置し、お客さまの利便性向上を図っております。

●当行の店舗およびATM設置状況（平成17年9月末現在）

店舗数 **71**カ店



## コンビニATM

お客さまのさらなる利便性向上を図るため、株式会社セブン銀行と平成18年5月頃にATM利用提携を実施する予定となりました。これにより、宮城県内およびその他都道府県のセブン-イレブン、イトーヨーカードー等に設置されているセブン銀行のATMにて入出金等のサービスがご利用いただけるようになります。



## 公益信託「仙台銀行まちづくり基金」

宮城県内でまちづくり活動等に取組んでいる方々を応援するため、平成4年6月に創業40周年記念事業として公益信託「仙台銀行まちづくり基金」を設立いたしました。

設立以来13年間で37先、総額510万円の助成を行いました。



平成16年度助成先  
とよま日根牛太鼓「桜乃会」（登米市）

## 定期講演会

毎年、時局や景気をテーマに本店9階講堂で講演会を開催し、地域の方々に広く聴講していただいております。

定期講演会は昭和51年から開催し、平成17年11月末現在で秋季講演会、新春経済講演会それぞれ30回開催しております。



秋季講演会（平成17年11月11日開催）  
講師／フジテレビジョン報道局解説委員・キャスター・国際医療福祉大学客員教授 黒岩祐治氏

# トピックス

## ビジネスローン

平成17年10月より、ビジネスローン「クイックパートナー」のFAXによる仮申込み受付を開始し、ビジネスチャンスをタイムリーにサポートしております。



## 新型定期預金

平成17年8月22日から9月22日の期間限定で、年利1%の満期延長特約付定期預金「ワンダフル1」を販売し、116億円のご契約をいただきました。

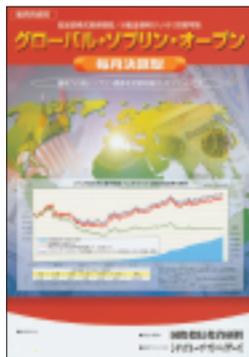
これからも、お客さまのニーズにお応えできる商品を提供してまいります。



## 投資信託

お客さまのあらゆる資産運用ニーズにお応えするとともに、ライフプランに合った資産形成のお役に立てるように、さまざまな投資信託商品を取り揃えております。

平成17年5月から投資信託「グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）」の取扱いを開始しました。



## キャンペーン

「夏の感謝祭」を平成17年6月～7月に実施し、抽選で15組30名さまに遠刈田温泉「温泉山荘・だいごんの花」さまの1泊2日ペア宿泊をプレゼントいたしました。



遠刈田温泉「温泉山荘・だいごんの花」

## 偽造・盗難キャッシュカード等への対応策

当行では、お客さまに安心してATMをご利用いただけるように、偽造・盗難キャッシュカード等の被害防止策として、下記の対応を行っております。

### 実施月

- 平成17年5月 ●窓口で1日あたりのお支払・お振込限度額のご希望額が設定できるようになりました。
- 6月 ●ATMの操作時に後方確認ができるミラーの設置や、のぞき見防止策としてATM画面にプライバシーシートの設置を行いました。
- 9月 ●ATMの暗証番号の配列をシャッフル（並べ替え）表示にしました。
- ATMで1日あたりのお支払限度額のご希望額が設定できるようになりました。
- 類推されやすい暗証番号の変更登録を制限するようになりました。
- 情報漏洩防止のため、ATMにおける取引データを暗号化しました。



ATMの暗証番号配列のシャッフル表示例

# 業績のハイライト(個別)

## 平成17年9月期中間決算の概要について

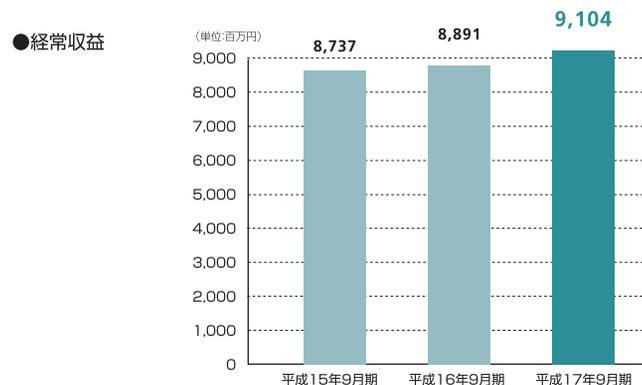
当行では、中期経営計画「ステップ・アップ・プランⅡ」に基づき、業容の拡大と財政基盤の強化に努めてまいりました。

主な経営指標等の推移は次のとおりです。

	平成15年9月期	平成16年9月期	平成17年9月期
経常収益	8,737百万円	8,891百万円	9,104百万円
経常利益	326百万円	1,062百万円	1,245百万円
中間純利益	409百万円	895百万円	828百万円
業務純益	1,681百万円	1,395百万円	1,477百万円
コア業務純益	1,316百万円	1,421百万円	1,504百万円
預金・譲渡性預金残高	7,270億円	7,440億円	7,391億円
貸出金残高	4,810億円	4,954億円	5,068億円
有価証券残高	1,741億円	1,885億円	1,842億円
自己資本比率(単体)	7.83%	8.42%	8.51%

## 経常収益について

経常収益は91億4百万円(前年同期比2.3%増)となりました。経常収益が増加した主な要因は、貸出金の増加に伴い貸出金利息が増加したことや、有価証券利息配当金が堅調に推移するなど資金利益が増加したことによるものです。



## 経常利益・中間純利益について

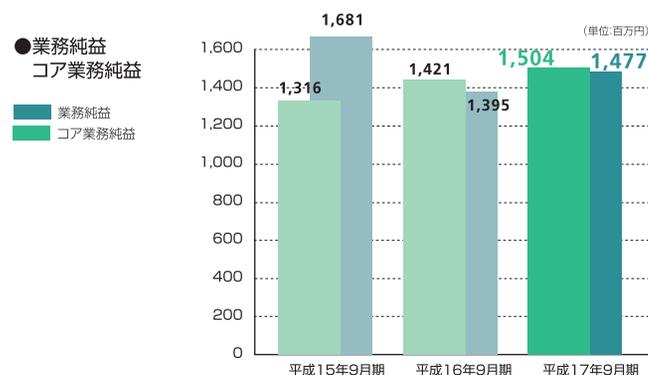
経常利益は12億45百万円(前年同期比17.1%増)、中間純利益は8億28百万円(前年同期比7.5%減)となりました。経常利益が増加した主な要因は、経常収益が増加したことに加え、経費の節減、経営改善支援の成果等により貸倒償却引当費用の負担が軽減したことによるものです。一方で、償却債権取立や貸倒引当金の取崩益が前年同期に比べて減少したことなどから、中間純利益は前年同期比で67百万円の減益となりました。



## 業務純益・コア業務純益について

銀行本来の収益力を表すコア業務純益は15億4百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

※コア業務純益とは、業務純益から一般貸倒引当金繰入額および債券売買等の損益を控除した金額をいいます。



## 業績のハイライト(個別)

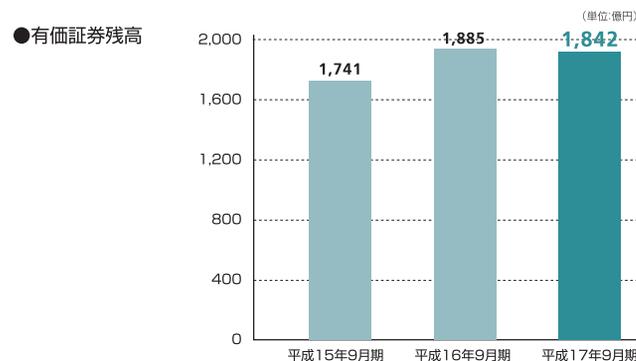
### 預金・譲渡性預金残高について

預金・譲渡性預金残高は、主力の個人預金が増加したものの、法人預金、公金等が減少し、7,391億円(前年同期比0.6%減)となりました。



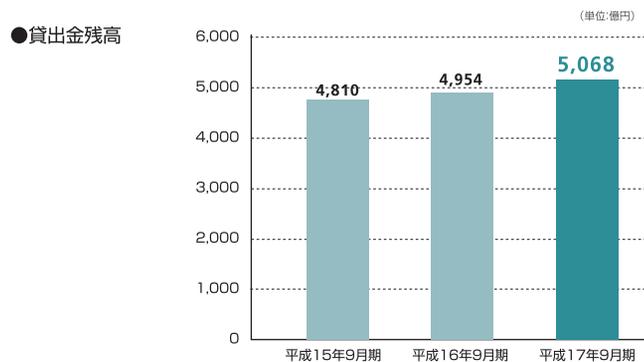
### 有価証券残高について

有価証券残高は、市場動向を勘案しリスクの分散を図りながら、資金の効率的かつ安定した運用に傾注し、1,842億円(前年同期比2.2%減)となりました。



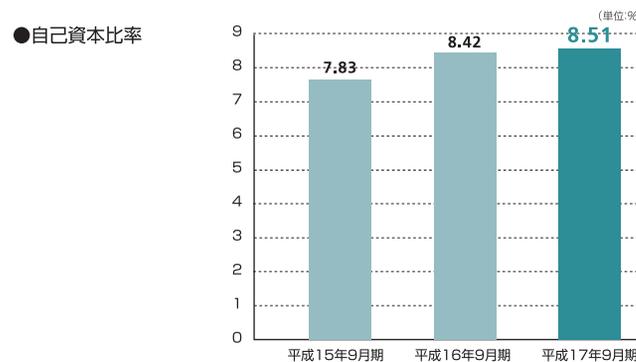
### 貸出金残高について

貸出金残高は、地方公共団体向け等の貸出が堅調に推移し、5,068億円(前年同期比2.2%増)となりました。



### 自己資本比率について

自己資本比率(国内基準・単体)は中間純利益を計上したことにより前年同期比0.09ポイント上昇し8.51%となりました。

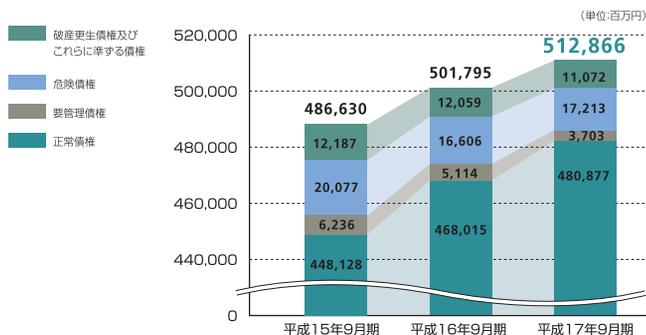


# 不良債権の状況

## 金融再生法開示債権

金融再生法に基づいた資産査定の結果、銀行の保有する債権（貸出金・支払承諾見返等）のうち、正常債権以外の債権は、前年同期比より17億91百万円減少し、319億89百万円となりました。

### ●金融再生法開示債権額



### ●金融再生法開示債権の保全内訳 (平成17年9月期)

(単位:百万円)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保・保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	11,072	11,072	7,686	3,385	100.0%
危険債権	17,213	12,927	10,115	2,812	75.1%
要管理債権	3,703	1,496	1,035	461	40.4%
合計	31,989	25,496	18,837	6,659	79.7%

### 用語の説明

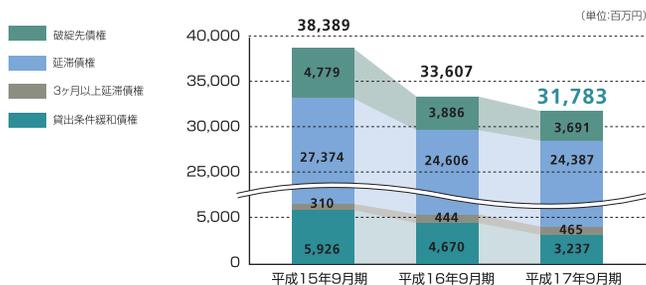
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
危険債権	債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。
要管理債権	3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。
正常債権	債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記3つの債権以外のものに区分される債権。

## リスク管理債権

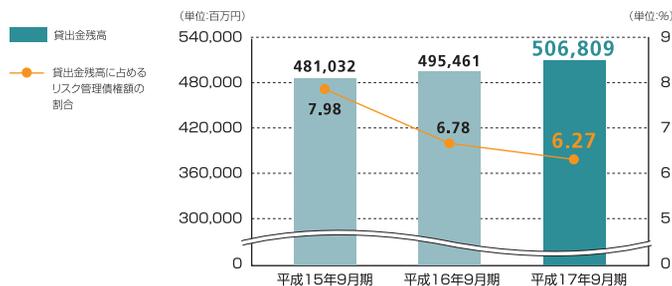
銀行法に基づく「リスク管理債権」は、貸出金のみが対象となります。

平成17年9月末における債権額は、前年同期比18億24百万円減の317億83百万円となりました。

### ●リスク管理債権



### ●貸出金残高に占めるリスク管理債権額の割合



### 用語の説明

破綻先債権	税法基準に基づいて未収利息を収益計上とすることが認められる貸出金（以下、「未収利息計上貸出金」と略）のうち、会社更生法の規定による更生手続開始の申立て、法律上の整理手続開始の申立があった債務者や手形交換所において取引停止処分を受けた債務者などに対する貸出金。
延滞債権	未収利息計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金以外の貸出金。
3ヵ月以上延滞債権	元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3ヵ月以上延滞している貸出金。（但し、破綻先債権、延滞債権は除く）
貸出条件緩和債権	債務者の経営再建又は支援のために、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄等、債務者に有利となるよう融資条件を緩和した貸出金。（但し、破綻先債権、延滞債権および3ヵ月以上延滞債権は除く）